

◆企画政策委員会

活動状況

〔〔正副会長会・総務財務委員会〕〕

開催年月日	議 事 事 項
6. 4. 5	1. 4月定例理事会の提案議題について
6. 5. 10	1. 第57回定時総会の議事進行の運営等について 2. 5月定例理事会（総会当日開催）の提案議題等について
6. 6. 7	1. 6月定例理事会の提案議題について
6. 7. 5	1. 7月定例理事会の提案議題について
6. 9. 6	1. 9月定例理事会の提案議題について
6. 10. 4	1. 10月定例理事会の提案議題について
6. 11. 1	1. 11月定例理事会の提案議題について
6. 12. 6	1. 12月定例理事会の提案議題について
7. 2. 7	1. 2月定例理事会の提案議題について
7. 3. 7	1. 3月定例理事会の提案議題について

〔企画政策委員会〕

開催年月日	議 事 事 項
7. 3. 24	1. 令和8年度国・県・市への予算要望について 2. 令和7年度事業計画（案）・予算（案）について

（一社）日本空調衛生工事業協会「第29回全国会議」 横浜で開催／令和6年10月17日～18日

会員意識調査について 調査期間／令和7年2月

会員意識調査報告の概要

(令和7年2月実施)

I はじめに

工業会では、会員の現状を把握・分析し、課題の改善及び政策提言等に役立てるため、会員企業の皆様にご協力いただき意識調査を実施し、この度報告書に取りまとめました。

会報では紙面の制約があり主に新規項目の掲載となります。回答をいただいた会員の皆様には、別途調査結果の詳細を送付いたします。また、他に入手を希望される方は事務局にご連絡ください。

II 会員意識調査実施の概要

会員企業に調査用紙を郵送及びメールで送付し、メールあるいはファックスで回収した。

- (1) 依頼企業数 79社
- (2) 調査期間 令和7年2月10日～2月28日
- (3) 有効回答数 70社 (回答率 88.6%)

III 会員意識調査結果の概要 (特に令和〇年等の記載のないものは令和7年2月の数値)

1 会員の景況感について

景況感の項目で「良い、やや良い」から「やや悪い、悪い」を引いた指数では、令和3年2月時点でマイナス33.8ポイントであったものが、令和6年2月にはプラス23.5に改善し、令和7年2月にはやや悪いが2社に止まり、景況感38.8のプラスになっている。

	好景気判断 A + B = F	悪景気判断 C + D = G	景況感 F - G
令和7年2月	41.8	3.0	38.8
令和6年2月	33.8	10.3	23.5
令和5年2月	14.7	20.6	△ 5.9
令和4年2月	11.0	34.4	△23.4
令和3年2月	9.3	43.1	△33.8

2 働き方改革について (女性が働きやすい職場づくり)

出生時育児休業 (産後パパ育休) の法整備については、ほとんどの会員が認識をしている。取得については、企業規模が大きい県外本社の会員では約8割で実績があるが、比較的小規模な県内会員では2割以下となっている。

また、女性が働きやすくするために必要な取り組みについては、現場のトイレ、更衣室等の整備が65.7%、短時間勤務、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方の環境整備が64.2%と半数以上の会員が回答している。

(1) 出生時育児休業についての認知

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		29		17		22		68	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	法律があることを知らない	2	6.9	0	0.0	0	0.0	2	2.9
2	聞いたことはあるが、内容についてはよく知らない	6	20.7	7	41.2	2	9.1	15	22.1
3	知っているが、実績はない	16	55.2	8	47.1	3	13.6	27	39.7
4	取得の実績がある	5	17.2	2	11.8	17	77.3	24	35.3

(2) 女性が働きやすくするための取り組み（複数回答・上位5位まで）

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		28		17		22		67	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	現場のトイレ、更衣室等の整備	19	67.9	11	64.7	14	63.6	44	65.7
2	短時間勤務、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方の環境整備	21	75.0	6	35.3	16	72.7	43	64.2
3	セクハラ防止対策（講習会の実施、宣言の掲示等）の強化	13	46.4	6	35.3	13	59.1	32	47.8
4	出産や子育てへの支援制度の充実	14	50.0	4	23.5	13	59.1	31	46.3
5	女性に配慮した作業服、工具などの導入・整備	10	35.7	6	35.3	7	31.8	23	34.3

3 情報共有システム（ASP）について

ASPへの会員の認知度は、知っているとの回答が33.9%と1/3と低く、利用経験のある会員は7.4%と極一部に止まっている。

また、利用が難しい理由としては、社内の書類管理が対応していない及び対応できる人材がないが共に35.2%、システム提供者の選定が難しいが29.6%と上位になっている。

(1) 情報共有システムの認知度

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		29		17		22		68	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	聞いたことがない	6	20.7	5	29.4	3	13.6	14	20.6
2	聞いたことはあるが、内容についてはよく知らない	10	34.5	8	47.1	13	59.1	31	45.6
3	知っているが、利用したことはない	12	41.4	1	5.9	5	22.7	18	26.5
4	ASPを利用した経験がある	1	3.4	3	17.6	1	4.5	5	7.4

(2) 情報共有システムの利用が難しい理由（複数回答・上位順）

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		22		14		18		54	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	社内の書類管理が対応していない	9	40.9	3	21.4	7	38.9	19	35.2
1	対応できる人材がない	5	22.7	8	57.1	6	33.3	19	35.2
3	システム提供者の選定が難しい	6	27.3	4	28.6	6	33.3	16	29.6
4	実務経験がなく不安	5	22.7	3	21.4	4	22.2	12	22.2
5	紙による書類提出に安心感がある	5	22.7	2	14.3	0	0.0	7	13.0

4 公共工事について

公共工事の入札価格がどうあるべきかの質問には、最低制限価格を現行より引き上げるべきが44.6%で1位、予定価格を超えても、その中で最低価格を応札した者を落札者とする制度を採用すべきが35.4%で2位となっており、現行の最低制限価格を維持すべきは4.6%と少なかった。

また、不調の原因の一つと考えられる予定価格と購入時の価格差の大きなものについては、GHPが71.4%、EHPが50.0%と半数以上の会員が回答をしているが、本社所在地別で見るとかなり対象にバラつきがある。

(1) 公共工事の入札価格のあり方（上位順）

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		28		16		21		65	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	最低制限価格を現行より引き上げるべき	11	39.3	7	43.8	11	52.4	29	44.6
2	予定価格を超えても、その中で最低価格を応札した者を落札者とする制度を採用すべき	13	46.4	4	25.0	6	28.6	23	35.4
3	最低制限価格を引き上げ、予定価格と同じにすべき	2	7.1	4	25.0	4	19.0	10	15.4
4	現行の最低制限価格を維持すべき	2	7.1	1	6.3	0	0.0	3	4.6

(2) 機械類等における大幅な価格差の事例について（複数回答・上位順）

本社所在地別		横浜市内		県内		県外		計	
回答会員数		23		14		19		56	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	GHP	20	87.0	12	85.7	8	42.1	40	71.4
2	EHP	11	47.8	6	42.9	11	57.9	28	50.0
3	衛生器具	8	34.8	9	64.3	6	31.6	23	41.1
4	足場工事	12	52.2	7	50.0	3	15.8	22	39.3
5	輻射式空調機	9	39.1	4	28.6	4	21.1	17	30.4
5	送風機	7	30.4	4	28.6	6	31.6	17	30.4
6	フェンス・基礎工事	8	34.8	7	50.0	0	0.0	15	26.8

(一社)日本空調衛生工事業協会 「第29回全国会議」 横浜で開催



河合 雅司 氏



大川 哲郎 氏



野並 晃 氏

(一社)日本空調衛生工事業協会の第29回全国会議を10月17日(木)、18日(金)に横浜市西区にある横浜ロイヤルパークホールで開催しましたので概要をご報告します。

1 概要

行事	開催日	開催時間	会場	出席者等
全国会議	10月17日	午後1時30分～5時15分	3階鳳翔A・B	427名
懇親会		午後5時～7時20分	3階鳳翔C・D	435名
記念旅行	10月18日		崎陽軒横浜工場他	53名

2 全国会議

藤澤会長は、冒頭のあいさつで、将来の担い手を確保していくためには働き方改革が不可欠で、令和6年度末に新たな行動計画の策定を目指すこと、加えて今年5月に公表した「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」に基づき脱炭素への貢献も進める決意を述べ、続いて、国土交通省不動産・建設経済局の平田局長より来賓のご挨拶がありました。

【講演の概要】




	テーマ	講演者
講演1	人口減少日本で起きていること ～建設設備業のこれから～	河合雅司氏 (ジャーナリスト)
講演2	SDGsを活用した地域中小企業による 新たな需要開拓	大川哲郎氏 (株)大川印刷代表取締役社長)
対談	異業種に学ぶ「ローカルの『味力』は 世界に通ず ～横浜に生まれ116年崎陽軒四代目の挑戦～	野並 晃氏 (株)崎陽軒代表取締役社長) 有井 清氏 (一社)神奈川県空調衛生工業会会長)
報告	新たな中期ビジョン「日空衛2025」	加賀美 猛氏 (一社)日本空調衛生工事業協会副会長)
P R	「2027年国際園芸博覧会」	小池 政則氏 (公財)2027年国際園芸博覧会協会事務次長

3 懇親会

藤澤会長の挨拶に続き、地元を代表し黒岩祐治神奈川県知事、山中竹春横浜市長に来賓のご挨拶を、地元神奈川県空調衛生工業会の顧問である菅 義偉元内閣総理大臣からはビデオメッセージをいただきました。

歓談中のアトラクションは、獅子舞(日本横濱中華學校校友會)、変面(神技 張海輪)、ジャズミュージック(グレース・マーヤトリオwith内田朱織)と地元横浜ゆかりの構成としました。最後に、次回開催地富山を北陸支部の皆さんが熱弁とビデオ映像で紹介して盛会のうちに終わりました。

4 記念旅行

- ホテル  崎陽軒横浜工場見学
-  崎陽軒本店(昼食)
-  横浜港クルージング

